

研究発表会より

10月27日(金)の研究発表会には、区内外より総勢260名の先生方や体育教育にかかわる方々が来校されました。この日は、久しぶりに爽やかな青空の一日となり、子供たちの表情も明るく、どの授業も活気にあふれていました。それぞれの学習での子供たちの様子や学習感想を紹介します。

1年

(体づくり運動-多様な動きをつくる運動遊び)
「わくわくらんど」

- ・みんなといっしょに かんぽっくりをしたのが楽しかった。
- ・けんぱーがたのしかった。けっこうむずかしいコースをつくってあそんだ。
- ・なわとびがうまくまわせてよかったです。
- ・けんけんで こーんをふまないようにしたよ。

- ・みんなで いっせいにいくという さくせんで やたらうまくいったのでうれしかった。
- ・ジグザクにいったら たまをいっぱいとれてよかったです。ピンクにもかててよかったです。
- ・わたしはいろいろなせめかたをしました。1つめはくねくねしてはったりしました。2つめはみんなではりました。

2年(ゲーム-鬼遊び) 「宝取り鬼」



- ・今日は、かたひざかけ回り(前)にチャレンジしました。出来なかった時、友だちがコツを教えてくれたので、あとちょっとのところまでいってうれしかったです。
- ・てつぼうでわぎを組みあわせたらすごく楽しかったので、このじゅぎょうがおわってからまたやりたいです。
- ・かかえこみ回りでは、さいしょにいきおいをつけることが回りやすくなるコツだと思います。先生に手伝ってもらい、回ったときは、とっても楽しかったです。

3年(器械運動-鉄棒運動) 「レッツ鉄棒」

4年（ゲーム-ゴール型）

「スペースボール」

- ・いろんなところに動いてできるだけパターンをふやせた。相手が投げる高さを はあくしてカットできた。そうしたら全勝できた！
- ・1回目の赤と対戦していた時に友達が、「さんのブロックが上手にできていたのを見て、次のあいの青と対戦した時、それを思っブロックできたので、次もやりたい。
- ・うしろにパスを出すときは、高いパスにしないと出せないとしりました。

- ・小さい頃から今まで、いろいろな経験を通して心が発達していることに気付くことができました。
- ・学校生活や家族や社会との関わりなど、普段の生活の中で心が発達する機会があることに初めて気付きました。
- ・いろいろな場面について自分ならどうするかを考え、自分勝手な行動をせず、みんなのことを考えた言動について考えることができました。

5年（保健-心の健康）

「心の発達」

- ・カーリングのストーンの動きに、そく転などを入れて、大きく回っている様子を伝えようとしているところがよかった。
- ・人とかかわり方や動きの大きさで見せどころを分かりやすく表現していると思った。
- ・「あじの開き」を表現する時に、「おうぎ」をつかって大きく空間をつくることができていた。

6年（表現運動-表現）

「6の2メモリー」



この日、来校された方からは以下のような感想が寄せられました。いくつか抜粋して紹介します。

- ・立野小に向かって歩いている時に、体育的活動に取り組む子供たちの声が聞こえてきて、生き生きと運動していることが伝わってきました。たくさんの種目が用意されていて、待ち時間がなく全校児童が動いていました。
- ・6年生の表現は、全身で大きく動き、友達と一緒に表していて、すばらしかったです。これまでにどのような積み重ねをして本時のような姿になるのか、是非指導の過程を教えたいと思いました。
- ・2年生の「宝取り鬼」は、1時間たっぷり時間をかけていましたが、どの子もあきることなく運動していると感じました。タグ2本という工夫、また、ちょうどいいコート大きさなど、参考にして実践していきたいです。
- ・食育でおにぎり作り、すばらしいアイデアだと思いました。
- ・3年生の鉄棒運動を中心に参観させていただきましたが、子供が技のポイントを理解しているのでアドバイスの質が高いと感じました。ただ単に「がんばれ」とか「強く」だけではなく、「足をここまで高く上げて」「手をつかみ直すのではなくこういう風に（手首を上を返す動作）」などの言葉が聞かれました。日頃の指導が活きていることがよく分かりました。

研究発表会は終わりましたが、今後も体育の研究は続きます。また、アクティブライフの研究は今年度が中間発表なので、来年度の本発表に向け、さらに活動の質を高めていきます。保護者の皆様にご協力いただくこともありますので、よろしくお願いいたします。